社協福祉ライブラリーから

本の紹介 ＊＊＊＊＊

障害のある10代のための困りごと解決ハンドブック

あなたがあなたらしく生きるためのヒント

著　者：野口晃菜
出版社：現代書館

学校・友達・恋愛
家族・進路など…
身体障害や発達障害、様々な障害のある10代の皆さんの困りごとと、その解決方法をイラストつきでわかりやすく紹介しています。先輩の経験談も多く掲載されており、あなたらしく過ごせるヒントが満載です。
すべての漢字にルビがついているので、どなたにも読みやすい一冊です。

寄附・寄贈者芳名（6月1日～7月31日）

御寄附・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

沖縄明治乳業株式会社　様

【写真左から２番目】
仲田　和男　様
（沖縄明治乳業株式会社　代表取締役社長）
【写真左から１番目】
棚原　道子　様
（沖縄明治乳業株式会社　営業一部次長）
【写真右から２番目】
本会　会長　湧川　昌秀
【写真右から１番目】
本会　常務理事　嘉陽　孝治

写真掲載以外の寄附・寄贈者芳名

●株式会社カルティベイト 様
●東京東信用金庫 様
●九州納豆組合 様
※匿名の方からも御寄贈いただきました。

※本会への寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで

令和７年度　寄附・寄贈者芳名　※左列より五十音順に記載いたします

- いけばなインターナショナル沖縄支部様
- 一般財団法人湧川財団様
- 一般財団法人那覇市垣花奉頌会様
- 一般社団法人 OS 管財様
- 一般社団法人沖縄県軍用地等地主会連合会様
- 一般社団法人沖縄県電気管工事業協会青年部会様
- 一般社団法人新光管材様
- 上原吉二様
- エヌエヌ生命保険株式会社様
- NTT 西日本沖縄支店様
- おきでんグループボランティア互助会様
- 沖縄ガス株式会社様
- 沖縄県建設業移動式クレーン協同組合様
- 沖縄県農業協同組合首里支店様
- 沖縄食糧株式会社様
- 沖縄タオル工業株式会社様
- 沖縄ビル・メンテナンス株式会社様
- 沖縄明治乳業株式会社様
- 株式会社サンレー様
- 株式会社ツルハホールディングス様
- 株式会社ホクガン様
- 株式会社モダンプロジェ様
- 株式会社琉球ドラゴンプロレスリング様
- 株式会社りゅうせき様
- 九州納豆組合様
- 極真会館空田道場様
- 公益社団法人沖縄県宅地建物取引業協会様
- 公益社団法人那覇法人会女性部会様
- 合資会社沖縄実業様
- 國和会様
- 古波津昇様
- 小日山幸子様
- JTB 協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会様
- JTB レキオス会様
- 島袋清助様
- 生活協同組合コープおきなわ様
- 全国農業協同組合連合会様栃木県本部様
- 損害保険ジャパン株式会社沖縄支店様
- 第 24 回芸能チャリティ公演実行委員会様
- 髙良幸正様
- 比嘉梨香様
- 福山商事株式会社様
- 緑の風様
- 琉球物流株式会社様
- ろうきんおもろまち地区推進委員会様
- ろうきん県庁地区推進委員会様

他、匿名希望の皆様

皆様からの温かいご厚意に深く感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます

表紙の作品

作品名「熊野古道」

作成者：宮城 悟さん

親しみのある笑顔が印象的な宮城悟さん（77 歳）が描き上げた【熊野古道】は、様々な色を幾重にも塗り重ね約半年かけて制作されました。暗さの加減にもこだわり描かれており、大杉の木肌や葉の陰影は空間に奥行きと静けさをあたえ、熊野古道の壮大な自然の美しさ、力強さが引き立つ魅力的な作品になっています。

圧倒的な描画力！と評価された宮城さんが絵を描くようになったのは、意外にも退職後のこと。好きな時に１人でも出来て、集中して創り出す面白さが魅力と語り、現在は、西原町公民館水彩画サークルひまわり会（講師：山田武氏）で腕を磨いています。

数多くの作品にふれ、様々な技法・画材を用いり、自分の手法を固定したくないと常に新しいことに挑戦し続ける宮城さん。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

福祉情報 おきなわ

Vol.229
2026.9.1

作品名：「熊野古道」（第 16 回かりゆし美術展　洋画の部　金賞）
作成者：宮城　悟　さん（糸満市）

目次

❷《特集》THANKS 運動の活動紹介
❹ 福祉のしごと就職フェア 2026 開催決定
❺ 第 17 回沖縄ねんりんピックを開催します！
❻ 第 14 回福祉機器展 2026 を開催しました／介護講座のご案内　他
❼ 民生委員・児童委員の日 活動強化週間／生活福祉資金「教育支援資金」のご紹介
❽ 第 53 回いしみね地域福祉まつり開催 ～笑顔がつながる石嶺の夏～
❾ 私たち「新人職員」です！（沖縄県社協の職員紹介）　他
福祉政策のさらなる充実に向けて予対協要請書提出
❿ 赤い羽根共同募金運動が始まります／「りゅうちゃん子どもの希望基金」46 団体への助成を内定！　他
⓬ 寄附者芳名、表紙の作者のご紹介　他

広報誌「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を活用しております。

編集・発行
沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会
〒903-8603 那覇市首里石嶺町 4-373-1（県総合福祉センター内）
tel.098-887-2000 fax.098-887-2024　www.okishakyo.or.jp
制作／株式会社スウィッチ

特集

THANKS（サンクス）運動の活動紹介

沖縄県社会福祉協議会では、平成 29 年度より社会的孤立の解消・防止を目的とした「THANKS（サンクス）運動」を展開しています。福祉関係者だけでなく、企業・団体を含む県民の皆様の理解と参画を得るため、セミナーの開催や助成事業による活動の支援、協賛団体の加入促進、こどもの居場所への支援にも取り組んでいます。今回の特集では、THANKS（サンクス）運動取り組みの一例をご紹介します。

県民福祉講演会

地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会を目指して

THANKS（サンクス）運動への参画促進を目的に、毎年県民福祉講演会を開催しています。本講演会では、孤独・孤立をはじめとする地域課題について学び、誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現を目指しています。

今年度も、7 月 6 日、講師に宮津 航一氏をお招きし、一般県民、民生委員・児童委員、福祉関係団体、市町村社協、行政職員、企業関係者など 235 名が参加しました。講演を通じて、参加者が「地域でできること」を考える機会となり、身近な支え合いやつながりの重要性への理解が深まりました。

▲多くの参加者が集い、講演に聞き入る会場

講演内容要旨

―「こうのとりのゆりかご」がいらない社会を目指すには ―

▲当事者としての経験や思いを語る宮津航一氏

こうのとりのゆりかごは、子どもを預かることだけが目的ではなく、孤立した保護者を支える最後のセーフティネットです。大切なのは、ゆりかごに預ける前に「助けて」と声を上げられる社会をつくることだと感じています。里親や地域の方々との出会いに支えられ、「血のつながりだけが家族ではない」と学びました。

また、子ども食堂や子ども大学の活動を通して、「心を満たす」居場所づくりや名前で呼び合う温かな関係の構築、学びや機会づくりの大切さを実感しています。「こうのとりのゆりかご」が必要のない社会を目指すには、困りごとを抱える人を地域で受け止め、誰もが孤立せずに支え合えるつながりを築くことが大切なのです。

寄附付き商品の販売（トマルの平飼いたまご）

商品購入を通して広がる支え合いと地域貢献

沖縄鶏卵販売株式会社及び株式会社トマルと連携し、THANKS（サンクス）運動寄附付き商品の販売を、5 月 5 日から開始しました。対象商品の「平飼いたまご」の売上の一部を THANKS（サンクス）運動へ寄附いただき、基金助成事業を通じて地域の支え合い活動やこども・若者への寄り添い支援活動に活用します。商品の購入を通して、県内への運動周知や継続的な寄附の確保を図るとともに、県民の皆さまが気軽に福祉活動へ参画できる取り組みとして推進します。

令和 7 年度 THANKS（サンクス）運動基金助成事業 活動報告

基金を財源に福祉団体へ活動資金を助成

協賛団体や個人から寄せられた寄附金を基金として積み立て、県内の福祉団体が行う活動に対し助成を行うことで、運動の推進につなげています。

与那国町社協　－ ディカディカ美ら（世代間交流づくり）

高齢者・若者・こどもが世代を超えて交流できる居場所として、保健センター内（与那国町社協内）に「ディカディカ美ら」を開設しました。近隣住民が自由に集い、軽作業や創作活動、各種行事等を通じて交流を深める機会を提供するとともに、仲間づくりや生きがいづくり、介護予防、社会参加につながる取り組みを実施しました。

北谷町社協　－ ちゃたん地域防災力の充実・強化事業

地域の防災力向上を目的として、町内の社会福祉法人で構成する「北谷町社会福祉法人ネットワーク連絡会」を運営し、「災害に関するアンケート」及び「福祉 × 防災講演会」を実施しました。アンケート調査を通して社会福祉施設における災害時の課題や備えの状況を把握するとともに、防災意識の向上と関係機関の連携強化を図りました。

こども冒険エコクラブ　－ こども自然歴史体験プログラム

こどもの体験機会の充実と体験格差の解消を目的として、「こども自然歴史体験プログラム」を実施しました。環境保全活動や自然体験、地域の歴史に触れる活動を通して、異年齢の子ども同士や親子の交流を促進するとともに、社会教育・情操教育の充実や環境・地域への関心を高める機会を提供しました。

こどもの居場所への支援

こどもの居場所をネットワークで支える

沖縄県から委託を受け、地域の「こどもの居場所（こども食堂等）」の活動を支えることを目的に「こどもの居場所ネットワーク事業」を実施しています。連絡会や研修会の開催、助成金・イベント情報の発信をとおして、県内のこどもの居場所を支える運営者や支援者による広域的なネットワークづくりを進め、こどもたちが安心して暮らせる地域づくりを推進しています。

▲「あやぱに・ミーティング」（R8 年7月）

7月31日には、石垣市と八重山こども食堂ネットワークとの共催で、「八重山地区連絡会 “あやぱに・ミーティング 2026”」を開催しました。認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 公共政策アドバイザーの湯浅誠氏による講演では、こどもの居場所の社会的意義や地域とのつながりの重要性について学びました。また、居場所運営者、ネットワーク、行政によるトークセッションでは、八重山地域におけるこどもの居場所の現状や今後の展望を共有し、参加者同士の交流や連携を深める機会となりました。

福祉のしごと就職フェア 2026 開催決定

福祉に興味のある方！無資格・未経験でも参加 ok！

県福祉人材研修センターでは、福祉の仕事に興味のある方（求職者・学生等）と福祉施設・事業所の『出会いの場』として、就職フェア（福祉の職場説明会）を開催いたします。

就職フェアでは、県内多数の福祉施設・事業所が一堂に会し、直接説明を聞ける機会となっており、高齢・障害・児童分野など幅広く福祉の仕事を知り、出会える貴重な機会となっております。

福祉業界で活躍している方、また、これから専門職を目指し勉強されている学生さん、無資格・未経験の方も含め、たくさんの方のご来場をお待ちしてます。

県内最大 70法人が参加予定！

1 回目（県内全域）
令和8年10月22日（木）
コザしんきんドーム（沖縄南インター入口近く）
（沖縄市諸見里 2-1-1 ）

詳細決まり次第別途ご案内

2 回目（北部）
令和9年2月26日（金）
名護市民会館 中ホール
（名護市港 2-1-1）

様々な福祉施設・事業所、職種を知る機会！就職活動の相談コーナーもあります。

就職フェア当日は、各法人ブースを自由に訪問いただき、求人内容や職場説明を直接聞くことができます。ご自分の希望職種・地域にあった職場を探しながら、これまで興味のなかった分野でもブース訪問することで、新たな気づき、将来の選択肢の一つになるかも！？

当日はハローワークやキャリアセンターなどの相談ブースもありますので、就職活動の相談、これからのキャリアの相談などについてもお気軽にご相談ください。

相談コーナー（就職、キャリア相談）

1. 福祉人材研修センター
2. ハローワーク
3. キャリアセンター
4. 保育士・保育所総合支援センター
5. ちゅらっとターン（交通費補助金事務局）

昨年度の就職フェア来場者の声（採用実績など）

昨年度の就職フェアでは 192 名の方が来場し、ブース訪問の後、後日の施設見学や面接に繋がり 16 名の方が採用されました。

昨年の就職フェア 採用16名の内訳

児童養護施設（児童指導員）	4	名
高齢入所施設（介護職）	3	名
障害入所施設（介護職）	2	名
高齢入所施設（看護職）	2	名
放課後等デイ（児童指導員）	2	名
地域包括支援センター	1	名
乳児院（心理士）	1	名
社協	1	名

問合せ先 **県福祉人材研修センター（098-882-5703）**
https://www.okishakyo.or.jp/jinzai/

福祉のしごと就職フェア 2026 に出展する施設・事業所情報に関しましては、決まり次第本会ＨＰに掲載しますので、右記 QR コードからご確認ください。

福祉のお仕事 FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のおしごと

第17回 沖縄ねんりんピックを開催します！

スポーツ交流大会・文化交流大会

沖縄ねんりんピックは、高齢者に適したスポーツ、文化活動等を通じて、生きがいと健康づくりを進め、明るく活力ある長寿社会づくりの促進を目的に開催しています（主催：沖縄県、（福）沖縄県社会福祉協議会）。今年度は、第 17 回沖縄ねんりんピック（スポーツ交流大会・文化交流大会）として下記のとおり、県内各地で競技が実施されます！

総合開会式 日時：9月19日(土) 9:15～ 場所：県立武道館・アリーナ棟

スポーツ交流大会（16 種目）【 4 月 19 日(日)～ 12 月 6 日(日)】

- ○ ラージボール卓球
- ○ テニス
- ○ ソフトテニス
- ○ ソフトボール
- ○ ペタンク
- ○ マラソン
- ○ 弓道
- ○ 剣道
- ○ グラウンド・ゴルフ
- ○ 太極拳
- ○ ソフトバレーボール
- ○ ダンススポーツ（終了しました）
- ○ ボウリング
- ○ 還暦軟式野球
- ○ 水泳
- ○ サッカー

※日程は競技により異なります

文化交流大会（2 種目）【 7 月 15 日(水)・9 月 21 日(月・祝) 】

- ○ 囲碁（終了しました）
- ○ 将棋

※競技日程、会場については変更が生じる場合があります。

かりゆし美術展 作品募集

かりゆし美術展は、高齢者の創作による美術作品を展示し、芸術文化活動における参加機会を促すとともに、趣味活動や創作意欲を高め、生きがいを持ち、明るく活力ある長寿社会づくりに寄与することを目的に開催しています（主催：沖縄県、（福）沖縄県社会福祉協議会）。例年、本美術展は「翌年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）」の出品作品選考を兼ねておりますが、令和 9 年度は全国ねんりんピックの通常開催がなく、代替イベントが開催されるため、今年度（令和 8 年度）の本美術展で選出された代表作品（各部門上位 1 作品）は 2 年後に開催される「令和 10 年度東京大会」に沖縄県代表として出品されます。

作品募集の詳細は、募集要項あるいはいきいき長寿センターホームページをご覧ください。

申込受付	8 月 3 日(月)～10 月 30 日(金) ※必着
展示期間	12 月 10 日(木)～13 日(日) 9：30 ～ 17：00（最終入館 16：30）
展示会場	県立博物館・美術館
部　門	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真
出品料	3,300 円（税込）
出品資格	県内在住、59 歳以上のアマチュア

第 16 回沖縄県知事賞
工芸部門　作者：高田 富男　作品名「毎年変わる干支シーサー」

沖縄ねんりんピックの詳細については、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

[お問合せ] **いきいき長寿センター 電話：098-887-1344**
主催：沖縄県、沖縄県社会福祉協議会　https://www.okishakyo.or.jp/ikiiki/

第14回 福祉機器展2026を開催しました

７月３日（金）・４日（土）の２日間、沖縄県総合福祉センターにて、「第 14 回福祉機器展 2026」が開催されました（主催：沖縄県、（福）沖縄県社会福祉協議会）。本イベントには、５４社の福祉機器メーカーが出展し、最新の福祉用具を「見て」「試して」「触れて」、体験できる貴重な機会となりました。

さらに、同日開催された研修会は全 5 回実施され、「トイレの悩み、あきらめていませんか？」、「介護現場を変える～ AI 活用実例と福祉用具の可能性～」、「新しい認知症観～認知症のご本人が考えるデザイン～」、「摂食嚥下とトロミ調整食品の活用について」、「姿勢崩れは座底長にあり！！」など、介護現場で役立つ実践的な内容が提供されました。各回とも盛況で、参加者の関心の高さがうかがえました。

アンケートから「福祉用具のどれもが利用者や介助者のことを考えて作られていることに敬意の念を抱くとともに、将来介助者として最大限に活かしていきたい」との声もありました。

来場者数は両日で 1,157 人にのぼり、会場は終日賑わいを見せました 。

～介護講座のご案内～

「はじめての介護講座」では、一般県民を対象に基本的な介護知識・技術などについて学びます。「スキルアップ養成講座」は、介護現場に従事する方の資質向上と地域住民への介護知識等の普及に協力できる人材を養成することを目的としています。

はじめての介護講座【一般県民向け】

対象者 **県内在住の方** 参加費 1 講座 1,100 円

日時 **10 月 7 日（水）13：30 ～ 15：30**

【褥瘡予防とスキンケア】

場所：沖縄県総合福祉センター東棟 4 階　403 研修室

スキルアップ養成講座【介護従事者向け】

対象者 **従事年数 3 年以上の介護従事者**

日時 **10 月 14 日（水）13：30 ～ 16：30**

参加費 1 講座 1,100 円

【誤嚥予防のための正しい姿勢と介助方法】

場所：沖縄県総合福祉センター東棟 4 階　403 研修室

【お問い合わせ】沖縄県社会福祉協議会介護実習・普及センター 電話：098-882-1484

「介護実習・普及センター」のホームページで、介護講座に関する情報を随時公開しておりますので、ご確認ください。

令和8年度 沖縄県保育協議会 正副会長の交代のお知らせ

会　長　**田仲雄二**（小川保育園　園長）

副会長　**幸田すがよ**（牧港ひまわりこども園　園長）

副会長　**石川真澄**（恩納村立安富祖こども園　園長）

民生委員・児童委員の日 活動強化週間

毎年 5 月 12 日は、全国民生委員児童委員連合会が定める「民生委員・児童委員の日」です。また、5 月 12 日からの 1 週間は「活動強化週間」とされ、今年度も沖縄県内各地において民生委員・児童委員の存在やその活動について、一層の理解促進を図るために、様々な活動やイベントが行われました。このうち、2 つの民児協の取組みをご紹介します。

南風原町民児連

5 月 12 日に南風原町社協にて民生委員、南風原町長参加で活動強化週間の出発式を行い、民生委員相互の意識の高揚を図りました。さらに南風原町長が一日民生委員に委嘱され、大型商業施設で民生委員とともに PR チラシ及びポケットティッシュの配布を行いました。子ども連れ家族などたくさんの方にお声かけし、若い世代も含めた幅広い層に PR することができました。

また、町内の各地区を担当の民生委員がそれぞれ約 200 世帯を直接訪問し PR チラシを配布しました。民生委員が直接世帯訪問することで熱意が住民に伝わり、周知の強化につながりました。

▲南風原町民児連 PR チラシ配布（中央は南風原町長）

▲うるま市石川民児協　遊び場点検

うるま市民児協

5 月 15 日にうるま市内のラジオ（FM うるま）に民生委員が出演し、視聴者層である高齢者を中心に、幅広い層に対して民生委員・児童委員活動の周知を行いました。さらに、市内各地区に活動強化週間を PR する横断幕を設置し、民生委員の存在を道行く様々な人の目に入る形でアピールし、地域住民に認知されることで理解を深めてもらうきっかけにしました。

また、「遊び場点検」として、民生委員が地域の子どもたちが利用する施設や公園の遊具などに危険な箇所がないかを点検して回るなど、民生委員の方々の地域への思いが伝わる活動強化週間となりました。

生活福祉資金『教育支援資金』のご紹介

教育支援資金とは、世帯の所得が一定以下の世帯で、他からの融資を受けることができない世帯に対し、就学に必要な費用を貸付するものです。この貸付制度を利用するにあたっての相談と申し込みの窓口は、お住いの市町村社会福祉協議会となります。令和 7 年度は 133 件の貸付が決定しました。

対象世帯　世帯の所得が、生活保護法に基づく生活保護基準額の1.75倍以下の世帯で、他からの融資を受けることができない世帯（学生等が借受人、生計中心者が連帯借受人となる必要があります）

対象学校　高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学　※留学は対象外

資金種類と貸付額
① 教育支援費
高等学校（専修学校の高等課程を含む）…… 月 **52,500** 円以内
高等専門学校、専修学校、短期大学 …… 月 **90,000** 円以内
大　学 …… 月 **97,500** 円以内
② 就学支度費（入学時にのみ必要となる費用）… **500,000** 円以内

貸付利子　無利子　※連帯借受人がいない場合は連帯保証人を立てる必要があり、立てられない場合は、年 1.5%の貸付利子がかかります。

よくある質問

Q. 入学前でも申し込みはできますか？

A. 合格が決定している場合、申し込みができます。申し込みの際に、合格通知書の提出が必要となります。

入学後には、在学証明書を提出していただきます。

Q. 初回相談から貸付けが決まるまで、どのくらいの時間がかかりますか？

A. 合格が決定したら申し込みができますが、毎年 11 月から3月は相談が多く、大変混み合います。必要書類を揃えるまでに時間を要することもありますので、おおむね2ヶ月程度かかります。

Q. 他の奨学金と併用できますか？

A. 日本学生支援機構（JASSO）の無利子奨学金・給付型奨学金や、母子父子寡婦福祉資金または沖縄振興開発金融公庫の教育ローン、その他の奨学金制度が利用できる場合は、そちらを優先していただきます。（他方制度優先）

ただし、奨学金の支給開始までに学費等の支払が必要な場合や、給付型や無利子奨学金の借入を利用しても学費が足りない等の場合は、ご相談ください。

なお、日本学生支援機構（JASSO）の第二種（有利子）奨学金との併用は不可となります。

第53回 いしみね地域福祉まつり開催

～笑顔がつながる石嶺の夏～

8月5日（水）沖縄県総合福祉センター　結プラザにおいて「第53回いしみね地域福祉まつり」が開催されました（主催：いしみね地域福祉まつり実行委員会）。本まつりは、地域住民の交流と福祉への理解を深めることを目的に開催されており、今年も多くの地域住民や福祉関係者、子どもたちが来場し、会場は笑顔と活気にあふれました。

ステージでは、石嶺保育園をはじめとする子どもたちによるダンスや和太鼓、地域団体や福祉施設による体操や盆踊りなど、さまざまな演目が披露されました。また、地元アーティスト「結華人」のライブや「琉星太鼓」のスペシャルステージ、石嶺町伝統エイサー会による勇壮なエイサー、石嶺町旗頭保存会による迫力ある旗頭演舞など、地域に受け継がれる伝統文化と現代の活動が融合した多彩なプログラムに、来場者から大きな拍手が送られました。

会場では「キッチンカー天国 in いしみね」も同時開催され、12店舗のキッチンカーと5ブースの出店が集結。沖縄そばやタコライス、かき氷、ロングポテト、わたあめなど多彩なメニューが並び、多くの家族連れでにぎわいました。食を通した交流も生まれ、地域の皆さんが思い思いの時間を楽しむ姿が見られました。

今年で53回目を迎えた地域福祉まつりは、子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、ともに楽しみながら交流を深める貴重な機会となりました。

また、会場である沖縄県総合福祉センターの存在や役割について、地域の皆さまに広く知っていただく場ともなりました。フィナーレのカチャーシーでは出演者や来場者が一緒になって踊り、地域のつながりや支え合いの大切さを改めて感じるひとときとなりました。

本まつりの開催にあたり、ご尽力いただいた実行委員会をはじめ、ボランティア、出演団体及び関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

沖縄県総合福祉センターでは、地域福祉活動や研修会、各種会議等に利用できる研修室・会議室の貸出を行っています。地域の皆さまに親しまれる施設として、今後も多くの方々にご利用いただければ幸いです。

お問い合わせ　沖縄県総合福祉センター　TEL：098-882-5811

沖縄県社協の職員紹介

私たち「新人職員」です！

沖縄県社協では、本年度新たに1名の職員が仲間入りしました。皆様よろしくお願いいたします！

ペイフォワード（恩送り）の気持ちを大切に。おせっかい人間の社協ウーマンになります。(♡) ゞ

新垣さくら さん
（地域生活定着支援センター）
令和8年7月採用

Q: 県社協への入職を希望した理由は？

自身が福祉関係者や機関に支えられた経験から福祉に関心を持ち、今度は地域や人を支える側として関わりたいと思ったためです。

Q: 現在の仕事の内容は？

地域生活定着支援センターで、矯正施設退所予定者等が、再犯を犯さず地域で安心して暮らせるように、地域の関係機関等と連携し支援しております。

Q: 仕事をするうえで大切にしていることは？

「犯罪を犯した人」＝「悪い人」ではなく、なぜ犯罪に至ったのかという背景に目を向けることが大切だと考えています。対象者の生育歴や家族関係、これまでの生活状況などを丁寧に把握し、本人が抱える課題を一緒に見つけながら、本人の思いや希望を大切にした、本人主体の支援につなげていければと思っております。

福祉施策のさらなる充実に向けて
沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会　要請書を県知事へ提出

沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会（湧川昌秀会長）代表団11名は、8月21日、県庁を訪れ、「令和9年度県福祉施策・予算に対する要請書」を提出しました。

手交式では、湧川会長より、「全国的にも、生活困窮や福祉人材確保など、深刻な福祉課題が山積しており、さらなる施策の充実と予算確保の必要性を痛感している。要請案件が全て達成されるよう、最大限の配慮と協力をお願いしたい」とあいさつし、新規8項目、継続21項目の全29項目の要請書を玉城県知事へ手渡しました。

要請書を受け取った玉城知事は、「災害時の福祉支援体制の整備や福祉・介護施策の充実、人材確保、障害福祉・里親支援の充実など、広範多岐にわたる要請事項が挙げられており、改めて県の責務の重要性を認識している。今後とも、福祉関係団体や市町村等との連携を密にしながら、実現に向けて取り組んでいきたい」と述べました。

沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会では、9月に県内全市町村及び市町村議会に対しても、福祉施策の充実や予算確保に関する要請書を提出する予定です。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!　令和8年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットはコチラから（ふくしの保険ホームページ）

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン 基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	
	手術保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	
年間保険料		350円	500円

＜重　要＞

◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
◆中途脱退による保険料の返金はありません。
◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）
送迎サービス補償（傷害保険）
福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

〈SJ25-09878 より抜粋〉

赤い羽根
共同募金運動が始まります

今年も 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 6 か月間、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。共同募金は、地域の福祉活動を支えるため、あらかじめ募金の使いみちや目標額を定めて実施する計画募金であり、令和 8 年度は 2 億 1,539 万 2 千円を目標に取り組みを進めてまいります。

皆さまからお寄せいただいた募金は、翌年度に市町村で行われるさまざまな福祉活動や地域づくりのために役立てられるほか、市町村の中で解決が難しい課題については、県全体の福祉事業を推進するための財源として活用されます。さらに、募金額の一部は、大規模災害発生時のボランティア活動を支える準備金として積み立てられます。

お寄せいただいた温かいお気持ちは、地域で支援を必要とする方々や、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながっています。今年度も赤い羽根共同募金運動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和 8 年度共同募金運動ポスター

全国共通助成テーマ

全国の共同募金会は、令和 2 年度より「つながりをたやさない社会づくり～あなたはひとりじゃない～」を共通助成テーマとして、地域のつながりを深めながら、孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせる社会づくりに取り組んできました。今年度も引き続き、このテーマに沿って活動を展開していきます。

「りゅうちゃん子どもの希望募金」 46 団体への助成を内定！

県共同募金会では、平成 27 年度から琉球新報社と協働で「りゅうちゃん子どもの希望募金」に取り組んでいます。

令和 7 年度は、県民の皆様から 2,487 万円余りのご寄附が寄せられ、本会配分委員会の審査を経て、子どもの居場所づくりや学習支援を行う団体、児童養護施設など 46 団体への助成を内定しました。

皆様からお寄せいただいた浄財は、支援団体を通じて子どもたちのために大切に活用させていただきます。引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

助成先は本会ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

りゅうちゃん子どもの希望募金
助成内定通知書交付式の様子

共同募金のつかいみち（令和 7 年度事業）

一般社団法人 ゆいまーるの会
ゆいまーる事業
助成額：500,000 円

沖縄県民生委員児童委員協議会
全国民生委員指導者研修会派遣事業
助成額：49,000 円

名護市社会福祉協議会
むらあしび（世代間交流）事業
助成額：555,354 円

災害ボランティア活動の支援のために
積立額：7,072,295 円

沖縄シーサーズ（SEASIRS）
第 51 回日本車いすバスケットボール選手権大会九州地区予選会
助成額：561,000 円

Koza 子どもカフェプロジェクト
おかえりカマラ
助成額：240,000 円

その他の使いみちについては「赤い羽根データベース はねっと」で検索

～ 気軽に社会貢献できる仕組み ～

ネットから共同募金への寄附ができます！

赤い羽根共同募金は、インターネットを通じた募金において、クレジットカード決済やコンビニ支払、ペイジー、携帯電話のキャリア決済などでも寄附ができます。令和6年 10 月からは「PayPay（ペイペイ）」も導入されキャッシュレスで手軽にご寄附いただけるようになりました。

中央共同募金会のホームページからネット寄附を行うと「マイページ」が作られます。マイページでは、寄附履歴や受付中の募金をいつでも確認することができます。

また、「PayPay（ペイペイ）」においては、匿名での寄附も可能です。

ぜひ、赤い羽根共同募金へのご寄附を通じて県内のさまざまな民間福祉活動への支援にご協力ください。

スマートフォン用
QR コード